

## ●虐待なんて絶対ダメ

先日、日本経済新聞の記事で高齢者施設における虐待の調査に関する報道がありました。

### ■3割の施設で疑い?

厚生労働省から委託を受けたNPO法人が、介護施設における虐待や身体拘束の調査を実施しました。「介護相談員」という相談窓口のような仕事をしているスタッフを通じて、介護施設のサービス内容について調査をしたようです。主に特養や有料ホームといった入所施設が対象のようですが、『本当?』と疑いたくなるような結果が報道されました。

明確な虐待であれば指導の対象となりますが、「虐待の疑い?」というグレーな部分も調査項目に入れて集計されました。

### 〈内容〉

介護相談員を派遣している自治体の事務局に対して調査票を送り、介護相談員から3877件の有効回答を得た。

▼虐待が「あった」と回答したのは757件(19.5%)

▼意図した虐待や身体拘束とは言いえないものの、疑われる行為は1285件(33.1%)

具体的な事例としては、特別養護老人ホームで居室に他の入居者が入れないようベルトでドアを縛っていた。認知症の人が無断で入ってこないようにするためとのこと。他にも車いすのタイヤの空気を抜いて、危険回避のために移動しにくい状況を作っていたとのこと。etc

### ■誤解を招かないための努力

サンプル数も少ないですし、統計手法としても偏った結果が出やすい調査方法だと思えます。この報道により、「世の中の3分の1の事業所で虐待がある。」という誤解が人々の中に生じることを危惧しています。一方で、頑張つてしつかりサービスを提供している事業所も情報発信の責務があると感じました。信じてもらうための努力も大事です。



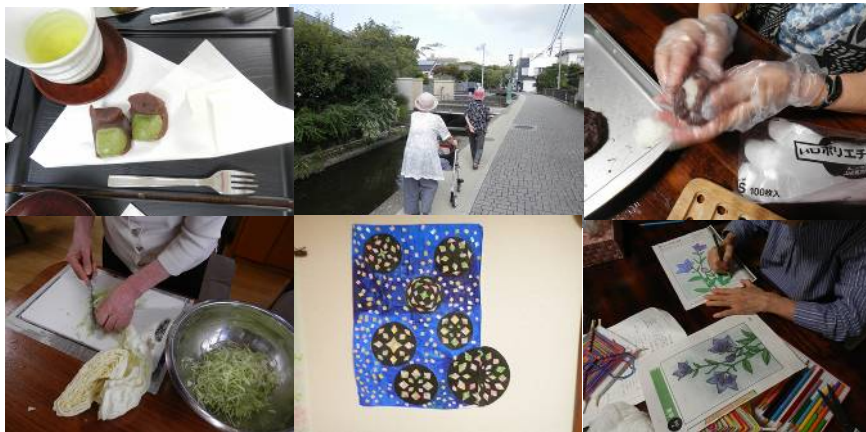
## ■9月あれこれ

### ▽運営推進会議(9/21)

利用者様、ご家族様の参加をいただきました。本当にありがとうございました。民生委員の方からもご意見をいただきました。頂いた貴重なご意見を次なるサービスへ活かしていきます。

### ▽涼しい日が増えました

おいしい日お萩も作りました。お散歩も気持ちが良いです。



## ◆秋にかけてのお休み情報

10月	9日(月)	祝日ですが通常営業
11月	3日(金)	祝日ですが通常営業
	23日(木)	祝日ですが通常営業

◆ご利用可能情報  
お気軽にご相談ください。

## デイサービス若芝(地域密着型通所介護)

住所: 三島市芝本町11-32

(三島信用金庫 本店営業部裏手)

電話: 055-983-0808 (渡部(わたなべ))

定員: 10名

営業: 月~土 (休日曜・祝日・年末年始)

サービス提供時間: 9:15~16:30

〈ふじしろ/若芝 デイグループ〉

職員: 介護福祉士10名、認知症ケア専門士5名、  
看護師2名、社会福祉士2名、ケアマネ4名

<http://www.com-work.jp/>

# 認知症の方の体験を理解する

## ● 心の中を想像

認知症の方の手記という訳にはいきませんが、おおよそ次のような世界を体験していることが想像できます。

心配だ。とても心配だ。一体ここはどこだろうか。私は何をしに来たのだろうか。何かヒントを見つかけようと辺りを見回しても手がかりすら見つからない。渡されたものもよく分からない。私は何をしたら良いのだろうか。周りの人に尋ねようにも聊（ちやう）ずかしくて聞けない。それに皆、忙しそうだ。私だけやることが分からないようだ。じっとしているのも申し訳ない。席を立つ。何かやることがあるように見せなくてはいいけない。

寂しい。とても寂しい。自分はこの居る良いのだろうか。いや、ここに居る理由はない。仕事がある。家事もある。それに家族が私のことを心配して待っているに違いない。こんなところにはいられない。

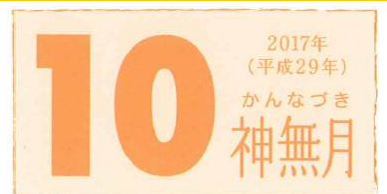
エプロン姿の人に「私の家に帰りたい」と言ったら、「あなたはここに住んでいるのですよ」と返された。あなたは誰だ。私の何を知っているのだ。どうしてニコニコと笑っているのだ。何か企んでいるのか。そう簡単には騙されれないぞ。あなたに馴れ馴れしくされる覚えもない。

切ない。とても切ない。息が詰まりそうだ。どうしてみんな、私の言うことに眉をひそめるのだろうか。私は子どもではない。全てを分かったように「ああしろ。こうしろ」と指図をしないで欲しい。

何かがおかしい。絶対におかしい。でも何が何だかわからない。

毎朝の「初めまして、よろしくお願いします。」が、とても大切なコミュニケーションになります。常にその気持ちを持ち続けなければ利用者様の気持ちに近づくことはできません。

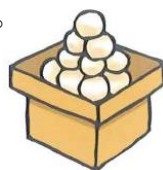
（「認知症ケアの実践」より）



## 食の豆知識

### 月見団子は15個

月見団子はまん丸ではなく、ちよつとつぶします。供える数は十五夜にちなんで15個とも、一年の月数の12個とも言われています。15個の場合は下から8・4・2・1と4段に重ねます。



### 旬をいただく

#### ぶなしめじ

漢字では「占地」「湿地」と書き、一面にたくさん生える。湿地に生えると言う意味があるそうです。骨の健康維持に必要なビタミンD、腸内環境を整える食物繊維が豊富で、様々なアミノ酸も含まれます。水で洗うと風味が落ちるのでハケで汚れを拭きます。



## 食養生

### 肌荒れ

周期的に生まれ変わる肌が荒れるのは、その新陳代謝が滞っているから。老廃物が多くなる動物性食品、油脂類、酸化しやすい粉もの（パンやお菓子など）を減らして、はとむぎ、葛、ふのり、きくらげ、ごまを積極的にとり、肝臓などの働きをアップして、肌をキレイにしましょう。



## おうちで手づくり

### きのこ味噌



えのきとしめじを二種類の味噌で炒め煮して、葛でまとめた保存食です。ごはんのお供だけでなく、お寿司にしたり蒸したジャガイモにのせたり、麻婆豆腐もおいしいです。

※参考：海の精クラブ

<http://www.uminosei.com/ryohri/>